

LALALUCTUS

取扱説明書 保証書付

品番：SE6311

家庭用



クックケトル プラス

この度は「クックケトルプラス」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品をご使用になる前にこの説明書を必ずお読み頂き、内容を十分にご理解された上でご使用ください。

なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後も大切に保管してください。

製品改良のため、予告なしにデザインや仕様を一部変更する場合があります。予めご了承願います。

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。
思わぬ事故の原因となります。

もくじ

安全上のご注意	・・・ P2～3
各部の名称	・・・ P4
お使いになる前に	・・・ P5
使い方	・・・ P6～9
使い終わったら	・・・ P10
お手入れの方法	・・・ P10
故障かな?と思ったら	・・・ P11
製品仕様	・・・ P11
保証書	・・・ 裏表紙

■安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、必ずお守りください。
お使いになる人や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
誤った取扱いをした場合の危害や損害の程度を次の表示で区分して、説明しています。



警告

死亡または重傷を負うおそれがある内容です。



注意

軽症を負うことや、物的損害が発生するおそれのある内容です。

◆物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

絵表示の説明



「禁止」(しないでください)を示します。



「強制」(必ずしてください)を示します。

警告

- 絶対に分解したり、修理をしない。
発火や異常動作によるけがのおそれがあります。
- 交流 100V 以外では使用しない。
破損や火災の原因となります。
- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。
ショートによる感電や発火の原因となります。
- 最大 800mL の目盛り以上の水や食材を入れない。
湯があふれ出し、やけどやけがの原因となります。
- ふたを開けたまま、湯を沸かさない。
やけどやけがの原因となります。
- 本体を転倒させない。周囲 30cm 以内に物を置かない。
やけどやけがの原因となります。
- 本体を直火、電磁調理器、電気ヒーターなどの上に乗せない。
火災の原因となります。
- 湯沸し中または直後は本体に手や顔を近づけない。取っ手以外は触らない。
やけどやけがの原因となります。
- ふたを持って本体を移動しない。
湯が流れてやけどやけがの原因となります。
- 注ぎ口をふきんなどでふさがない。
やけどやけがの原因となります。
- 氷を入れて保冷用に使わない。
結露が生じ、感電の原因となります。
- 不安定なところでは使用しない。
湯が流れてやけどやけがの原因となります。
- 子どもだけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない。また、ペットの側や近くで使わない。
思わぬ事故や感電、ケガのおそれがあります。
- 電源コードを束ねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重いものを乗せたり、挟み込んだり、加工したり、傷つけたりしない。
ショートによる感電や発火の原因となります。
- 電源コードが破損した場合は、電源コードの交換及び修理は絶対にご自分でしないでください。
保証書に記載のお客様相談窓口までご連絡ください。

⚠ 警告



- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。
ショートによる感電や発火の原因となります。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
感電、火災の原因となります。
- 電源プラグのほこりや汚れなどは定期的に取り除く。
湿気などで、絶縁不良になり火災の原因となります。定期的にプラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 空だきはしない。
火災・故障の原因となります。

⚠ 注意

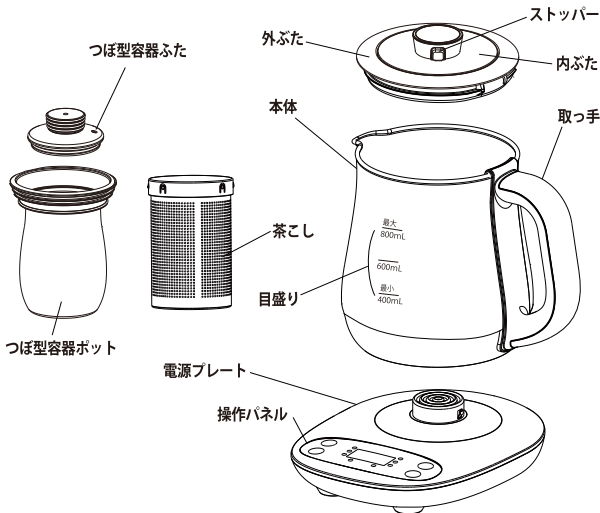


- 落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない。
ショート・故障の原因となります。
- 蒸気が出ているときは蒸気に触れない。
やけどの原因となります。
- 壁や家具の近くで使わない。
蒸気や熱で家具を傷め、変形・変色の原因となります。
- 湯沸し中はお湯を継ぎ足さない。移動させない。
湯が飛び散り、やけどの原因となります。
- 専用の電源プレート以外は使わない。
火災・やけどの原因となります。
- ガラスに傷やひび、欠けがある場合は使用しない。
けがの原因となります。
- 使用中には可燃物を近づけない。
火災の原因となります。
- 使用中もしくは使用してすぐに本体のガラスや金属部分に触れない。
やけどの原因となります。
- つぼ型容器ポットを本体にセットした状態のまま本体を傾けたり、水を注がない。
やけどの原因となります。
- 使った後は、本体に残った水や食材を取り除き、絶対に丸洗いしたり、浸したりしないでください。
ショート・感電の恐れがあります。
- 本機器は安全に責任を有する人物が本機器の使用について監督または適切な指示を与えないかぎり、身体的、感覚的または精神的に低下している、および経験または知識をもたない人物による使用をしない。
やけどやけが、感電するおそれがあります。



- 電源プラグを抜くときはコードを持たずに、先端の電源プラグを持って引き抜く。
ショートによる感電や発火の原因となります。
- 残り湯は、注ぎ口から捨てる。
本体内部などが漏れて、故障の原因となります。
- 使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いておく。
感電、火災の原因となります。
- お手入の際は、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷えてから行なう。
やけどの原因となります。

■各部の名称



操作パネル

沸とうボタン

水を沸とうさせます。

保温ボタン

設定した温度に加熱し、その後保温します。

温度表示ランプ

電源ボタン

電源をオン/オフします。

温度設定ボタン

設定した温度に加熱します。温度は、40℃・50℃・60℃・70℃・80℃・90℃の6段階に設定可能です。

沸とうランプ

保温ランプ

温度表示パネル

現在の水温などが表示されます。

■お使いになる前に

本製品を初めてお使いになる場合は、以下の内容をご確認の上、ご使用ください。

- 初めて使用する際は、本体を2～3回すすいでからご使用ください。
使いはじめに臭いがする場合がありますが、臭いが気にならなくなるまで、繰り返すすいでからお使いください。
- 電源プレートの上に本体を載せたまま水を入れしないでください。
- 水や食材を入れすぎると、ふきこぼれるおそれがあります。最大800mLの目盛り以上は水をいれしないでください。
- 水や食材を入れないうまま、空だきをしないでください。故障の原因となります。万が一、空だきもしくは、少量の水しかない状態で動作させた場合は空だき防止機能が作動し、加熱を終了します。その場合は、本体が十分に冷えるのを待って、正しい水量を入れてご使用ください。
- 本体底面に白色や黒色の斑点が付いている場合があります。これは、水を沸とうさせる時に、ミネラル成分が結晶化したもので、有害ではありません。生産工程での水を入れて動作確認時に付く場合がございます。気になる方は、ご使用する前にクエン酸洗浄をおすすめします。
クエン酸洗浄方法は、本書10ページをご参考ください。
- ご使用中側面が熱くなりますのでお取り扱いにご注意ください。
- 万一転倒した場合はお湯がこぼれ出てやけどをするおそれがありますのでご注意ください。

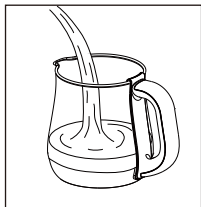
使い方

1 ふたを開け、本体に必要な量の水を入れる。

⚠ 注意

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かした後は水に含まれるミネラル成分などがケトル底面に付着しやすくなります。

- 電源プレートに本体を載せたまま水を入れしないでください。
- 蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。
- 「最大 800mL」目盛り以上、水を入れしないでください。
- つぼ型容器ポットを中に入れて使用する際は、本体の 600mL 目盛りまで水を入れてご使用ください。



2 ふたを閉めて本体を電源プレートにセットする。

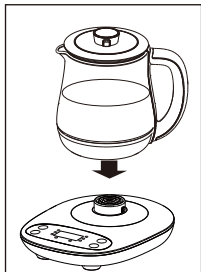
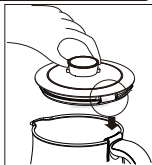
本体接続部を電源プレート接続部に合わせて正しくセットする。

⚠ 注意

- 電源プレートは清潔で平らなところに置いてください。
- 電源プレートにセットする際は、本体が安定していることを確認してから手を離してください。

図のようにふたのパッキンのかきこみが本体の取っ手上部と合うように閉めてください。

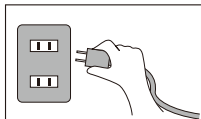
- お湯を注ぐ時にふたが外れるなどふたのパッキンが著しくゆるくなった場合は交換してください。(別売)



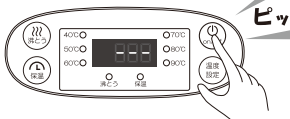
3 電源プラグをコンセントに差し込む。電源プレートからピーと音が出ます。

⚠ 注意

定格 15A・交流 100V のコンセントを単独で使用してください。



4 電源ボタンを押して電源を入れる。ボタンを押すとピッと音がします。



5 操作ボタンを押して加熱を始める。

①温度設定ボタンを押して、温度を設定します。

ボタンを押すごとに 40℃・50℃・60℃・70℃・80℃・90℃の温度が設定できます。

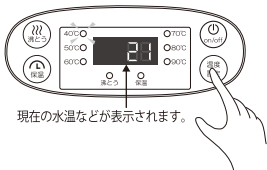
②温度が確定するまで 10 秒程待ちます。

選択した温度表示ランプが点滅から点灯に変わったら確定したサインです。ピッと音がして加熱が開始されます。

※現在の水温より低い温度を設定する場合は、加熱が開始されません。

③お湯の温度が設定温度まで上がると、ピッピッピと音がして、加熱を終了します。 (電源が OFF となります。)

●加熱中に本体を電源プレートから外しても、再度加熱が再開されます。



①沸とうボタンを押します。

ボタンを押すと、沸とう表示ランプが点滅してすぐに加熱が開始されます。

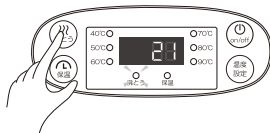
加熱を中止するには、
電源ボタンを押すと中止されます。

②お湯が沸とうを続け、水温が 100℃以上に上がると、 ピッピッピと音がして、加熱を終了します。 (電源が OFF となります。)

●加熱中に本体を電源プレートから外しても、再度加熱が再開されます。

※加熱時間は、水温・水量・室温などによって多少異なります。

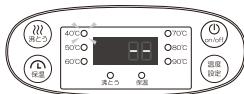
※表示される水温は、実際の水温と ±3℃の誤差が出る場合がございます。



■ 使い方 (つづき)

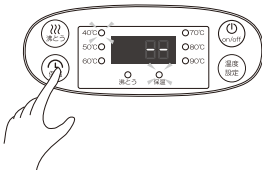
保温モード・・・設定温度に加熱した後に保温します。

- ① 温度設定ボタンもしくは、沸とうボタンを押して保温したい温度を選びます。
- ② 選択したモードのランプが点滅中に保温ボタンを押して確定するまで10秒程待ちます。
選択した温度表示ランプもしくは、沸とうランプと保温ランプが点滅してしばらくすると点灯に変わったら確定したサインです。ピッと音がして加熱が開始されます。
- ③ 設定温度に達したときは、ピッピピッと音がして、保温を開始します。



保温時間は、1時間

- 設定温度に達してから、1時間保温します。
- 保温中は、設定した温度から水温がさがると自動的に加熱し、設定した温度へ到達すると加熱を止め、設定温度調整します。
- 加熱、保温中に本体を電源プレートから外しても、再度電源プレートにセットすると再開されます。



加熱を中止するには

電源ボタンを押すと中止されます。

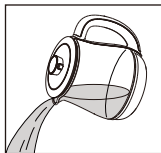
- ④ 保温が開始され1時間程たつとピッピピッと音が2回して、電源がOFFとなります。

- ※ 選択温度が確定した後（温度表示のランプが点灯した後）に保温を選択する（もしくは解除する）ことはできません。
- ※ 加熱時間は、水温・水量・室温などによって多少異なります。
- ※ 表示される水温は、実際の水温と±3℃の誤差が出る場合がございます。

6 お好みの温度になったらお湯を注ぎます。

- 本体を電源プレートからはずしてお湯を注いでください。
- 本体を電源プレートに戻す際は、本体が安定していることを確認してから手を離してください。

本体を電源プレートからはずすとき、ピッと音が鳴り、表示パネルの文字が「000」と表示されます。



お知らせ

空だきや本体に水が無くなった場合、本体の安全装置が作動して、ピッピッと音と同時に温度表示パネルが「E00」と表示され、ヒーター部への通電が自動的に切れます。再度使用される際は、本体が冷えるのを待って、水を注ぎで使用ください。



お茶やお汁を作る場合・・・茶こしをセットする

- 1 本体に入った水を沸とうさせる。(茶こしはセットしない)
 - 2 茶こしに適量のお茶を入れる。
 - 3 内ぶたのストッパー2ヶ所を押しながら、内ぶたを開け、裏側にお茶を入れた茶こしをセットする。
 - 4 茶こしをセットした内ぶたを本体へ取り付け、本体を電源プレートへ戻します。
 - 5 飲み頃になったら茶こしを取り除き、カップなどに注ぎお召し上がりください。
- 茶葉の分量や抽出時間はお飲みになる茶葉の説明書をご参考ください。



⚠ 注意

- ※加熱直後は本体が大変熱くなっており、内ぶたを開ける際に熱い蒸気がでることがございますので十分注意してください。布巾などのご使用を推奨します。
- ※ふたを開けたときに、ふた内部から熱い熱湯が落ちることがありますので、取扱いには十分にご注意ください。

湯せんをする・・・つぼ型容器ポットを使う

※つぼ型容器ポットを使用する場合は、本体に600mL以上水を入れなくてください。

- 1 本体に水を600mL入れる。
- 2 つぼ型容器ポットに湯せんする食材を入れ、本体にセットする。
- 3 適温であたためる。

[参考]

- ・澄ましバター(温度設定40℃もしくは50℃で溶かす)
- ・ゼラチンを溶かす(適量水と粉ゼラチンを混ぜ、温度設定60℃もしくは70℃でかき混ぜる)
- ・チョコレートフォンデュ(細かくしたチョコレートと生クリームを温度設定60℃で混ぜる)
- ・温泉卵(殻のままの玉子と浸かる程度の水をセットして温度設定70℃で15分であたためる)



⚠ 注意

※つぼ型容器ポットに食材を入れる場合は、持ち手シリコンラバーから約1cm以下に入れてください。(目安280mL以下) 吹きこぼれ注意。

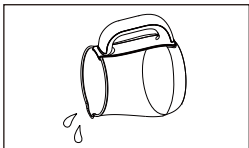
⚠ 警告

※赤ちゃん用の粉ミルクなど調乳する場合は、一度沸とうしたお湯をご使用ください。本製品の温度設定機能は、沸とうしてから、選択した温度設定に設定されるものではありません。

■使い終わったら

電源をオフにして、残ったお湯を捨てます。

- 電源プラグはコンセントから抜いてください。
 - ご使用後は、水あかや茶しぶの付着を抑えるため、本体のお湯などを残さず、空にしてください。
- ※お湯を捨てる際は、本体や中のお湯が熱いので十分に注意してください。



■お手入れの方法

お願い

- 必ず差し込みプラグを抜き、残り湯を捨て、本体が冷めてから行なってください。
- 底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。(内部に水が入り、故障やさびの原因)
- 次のものは、使用しないでください。
 - ◇シンナー・ベンジン・漂白剤など(変色、割れ、劣化、腐食の原因)
 - ◇みがき粉・ナイロンたわし・金属製のもの・メラニンスポンジ・スポンジのナイロン面・ブラシ・研磨剤入洗剤など(表面が傷つく原因)
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機を使用しないでください。(樹脂の変形の原因)

本体内側・茶こし・つぼ型容器ポットのお手入れ

本体の底面に水が触れないようにして、台所用中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジなどで洗って、水でよくすすいでください。その後乾いたら柔らかいふきんなどで拭き取ってください。

- 汚れが落ちにくい場合は、クエン酸洗浄をおすすめします。(クエン酸洗浄方法は、下記ご参照ください)

⚠ 注意

※本体底面やプレートに水があたらないように、十分ご注意ください。(故障や感電の原因となります)

ふたのお手入れ

外ふたについているパッキンを取り外して、ふたと一緒に洗います。台所用中性洗剤を使いよく洗って、水でよくすすいでください。内ふたに水が入ることもありますが、十分に水を切ってから、しっかり乾かしてください。十分に乾いたら、パッキンを右図のように向きに気をつけてご使用ください。ゆるい場合は交換してください。



クエン酸洗浄方法

- ① 800mLの水に約20gのクエン酸を入れて沸とうさせてください。
- ② 30分程放置後、お湯を捨て水でよくすすいでください。
- ③ クエン酸のにおいが気になるようでしたら、水だけを入れて、再度沸騰とうさせ、お湯を捨ててください。

■故障かな？と思ったら

こんなとき	原因	対処方法
ケトルが作動しない	コンセントにプラグが入っていないが。	電源プレートのプラグを確実にコンセントに差込んでください。
	空だきしたため、安全装置が作動して、ヒーター部への通電が自動的に切れた。	ケトル本体をプレートからはずし、熱を冷ましてから水を入れてください。
加熱されていない	設定温度が現在の水温より低い。	設定温度を水温より高くするか、沸とうボタンを押してください。
水が漏れる・ふき出す	最大目盛り 800mL より多くの水が入っている。	水量を最大 800mL 目盛り以下に減らしてください。
	茶こしを使用する場合 600mL より多く水が入っている。	水量を 600mL 目盛り以下に減らしてください。

このような症状が出たり発見した場合は、直ちに使用を中止してください。

- ・電源コード、電源プラグに損傷が見られる
- ・使用中に電源コードや電源プラグが異常に熱くなる
- ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
- ・いつもよりも本体が熱くなり、焦げくさい臭いがする
- ・その他異常や故障がある

■製品仕様

クックケトル プラス	
品番	SE6311
電源	AC100V (50/60Hz)
定格消費電力	400W
電源コード	約 1m
外観サイズ	W15×D19.5×H21.5cm
製品質量	約 1kg
最大容量	本体 800mL / つぼ容器ポット 280mL
付属品	茶こし、つぼ型容器ポット、つぼ型容器ふた
生産国	中国